

令和5年度 社会福祉法人魚沼福祉会 経営事業計画

新型コロナウイルス感染症と世界情勢により、急速に経済が失速した。大陸や半島国を起因とした緊張が世界経済を萎縮させ、食料から半導体まで多分野に渡って影を落とすこととなった。価格高騰による景気低迷の中、日本は不安定な情勢に対し国防費を増大させる予算を計上した。停滞した国内では事件事故が多発し、人間不信・誹謗中傷など、ますます和を乱す風潮となっている。

高齢障がい者福祉の分野でも、家族介護力の低下・人口流失による過疎化など、国が進める地域包括ケアシステム推進にも停滞感が出ている。当市では在宅介護を支える家族介護力の低下などから、施設サービスのニーズが高まってきた。しかしながら有資格者をはじめ介護人材が集わず、事業継続にも不安が残る状態となっている。

このような状況の中、効率を求め、適正化を標榜し介護報酬を抑えることは将来に不安を残す。2024年の報酬改定に向け、エッセンシャルワーカーと呼称され、とどまることができない我々の仕事はクオリティに合ったコストが必要であることを示したい。ついでには全国老人福祉施設協議会を軸に、我々のサービスは納得の高付加価値であることを担保とする覚悟を示さねばならない。業界の地位向上を具現化することは、自らの介護サービスの質向上そのものであり、決して安売りのサービスではないことを職員一丸となって発現しなければならない。

令和5年度の目標は不変である基本的な3大ケアを起点に、自立とQOL向上を合言葉とし、リハビリテーション・栄養ケアマネジメント・看取りケアなど、サービスクオリティの向上に積極的に取り組む。地域包括支援センターや各居宅介護支援事業所による相談援助と共に対人援助職の魅力を自らが発信できるよう、誇りをもって就業できる職場づくりを行っていく。

1. 基本理念・基本方針

[I 魚沼福祉会の基本理念]

魚沼福祉会は、人の尊厳を貴び、共に明るく豊かな時間を創造し、かけがえのない命の輝きを守ります。

[II 魚沼福祉会の基本方針]

1. 私たちは、個人の尊厳を守り、個人情報を保護し、安心で安全な環境を提供します。
2. 私たちは、真心を込め、納得のできる福祉サービスを、笑顔で提供いたします。
3. 私たちは、法令を遵守し、情報開示による経営の透明性を図り、説明責任を果たします。
4. 私たちは、何方とも対等に、等しく対応します。
5. 私たちは、常に人格を磨き、知識と技術の向上に努めます。

2. 事業目標量

各施設（拠点）における目標事業量を次のとおりとする。

事業種別	定員 A	令和5年度目標量			令和4年度目標量		
		延利用数 /営業日数	平均 B	稼働率 B/A	延利用数 /営業日数	平均 B	稼働率 B/定員
特別養護老人ホーム美 雪 園	78人	28,182人 / 366日	77.00 人/日	98.7%	28,105人 / 365日	77.00 人/日	98.7%
特別養護老人ホームうかじ園	77人	27,816人 / 366日	76.00 人/日	98.7%	27,740人 / 365日	76.00 人/日	98.7%
特別養護老人ホーム寿和ホーム	30人	10,797人 / 366日	29.50 人/日	98.3%	10,767人 / 365日	29.50 人/日	98.3%
特別養護老人ホームあぶるま苑	52人	18,666人 / 366日	51.00 人/日	98.1%	18,725人 / 365日	51.30 人/日	98.7%
(特養 利用者計)	237人	85,461人 / 366日	233.50 人/日	98.5%	85,337人 / 365日	233.80 人/日	98.6%
美 雪 園 (短期入所)	20人	6,991人 / 366日	19.10 人/日	95.5%	6,971人 / 365日	19.10 人/日	95.5%
うかじ園 (短期入所)	13人	3,935人 / 366日	10.75 人/日	82.7%	3,922人 / 365日	10.75 人/日	82.7%
寿和ホーム (短期入所)	6人	1,830人 / 366日	5.00 人/日	83.3%	1,825人 / 365日	5.00 人/日	83.3%
あぶるま苑 (短期入所)	3人	915人 / 366日	2.50 人/日	83.3%	1,040人 / 365日	2.85 人/日	95.0%
(短期入所 利用者計)	42人	13,671人 / 366日	37.35 人/日	88.9%	13,758人 / 365日	37.69 人/日	89.7%
(特養+短期入所 利用者計)	279人	99,132人 / 366日	270.85 人/日	97.1%	99,095人 / 365日	271.49 人/日	97.3%
美雪園デイサービスセンター	25人	6,064人 / 311日	19.50 人/日	78.0%	6,842人 / 311日	22.00 人/日	88.0%
デイサービスセンターうかじ園	28人	7,308人 / 311日	23.50 人/日	83.9%	8,507人 / 362日	23.50 人/日	83.9%
デイサービスセンター入広瀬	18人	4,308人 / 258日	16.70 人/日	92.8%	4,438人 / 258日	17.20 人/日	95.6%
デイサービスセンターひまわり	30人	9,266人 / 362日	25.60 人/日	85.3%	9,593人 / 362日	26.50 人/日	88.3%
(デイサービス 利用者計)	101人	26,946人 / 362日	85.29 人/日	84.4%	29,380人 / 362日	89.20 人/日	88.3%
ヘルパーステーションコスモス		7,080人 / 246日	28.78 人/日	5.8件 職員 5.0人	4,320人 / 246日	17.56 人/日	4.4件 職員 4.0人
美雪園訪問看護ステーション		290人 / 41日	7.07 人/日	2.4件 職員 3.0人	2,160人 / 246日	8.78 人/日	1.8件 職員 5.0人
(訪問介護・看護 利用者計)		7,370人 / 41日	35.85 人/日	4.5人 職員 8.0人	6,480人 / 246日	26.34 人/日	2.9人 職員 9.0人
ケアプランセンターうおぬま北		1,452件 /12ヶ月	121.0 件/月	30.3件 職員 4.0人	1,680件 /12ヶ月	140.0 件/月	35.0件 職員 4.0人
うおぬまケアセンター		2,880件 /12ヶ月	240.0 件/月	34.3件 職員 7.0人	2,880件 /12ヶ月	240.0 件/月	34.3件 職員 7.0人
魚沼市西部地域包括支援センター		534件 /12ヶ月	44.5 件/月	11.1件 職員 4.0人	522件 /12ヶ月	43.5 件/月	10.9件 職員 4.0人
(居宅介護支援 利用件数計)		4,866件 /36ヶ月	405.5 件/月	75.7件 職員 15.0人	5,082件 /36ヶ月	423.5 件/月	80.2件 職員 15.0人

※ 居宅介護支援の介護予防の利用者（介護予防プラン受託件数は、1/2人換算）を含む。

3. 重点実施事項

1) 中長期事業計画の策定

不安定な時流の中、法人事業経営の指針となるべき中長期事業計画を策定する。若手職員によるワーキングチームを立ち上げ、「選ばれる事業所」と働きやすい組織を作り上げる研究を行う。

事故の低減

サービス提供側の過失による事故を低減する。ストップ誤薬事故を掲げ、事故防止に努める。

コスト削減

共同購入・自己保全など、コスト削減の研究実践を行う。

2) サービス品質の改善

数値目標への取り組み

目標を実現する計画を・実行・評価・改善を繰り返し実践する。

科学的介護と対人援助の基本

アセスメントとケアを連動させ、根拠のある介護サービスの提供ができるよう研究を進める。ICT 機器や AI 搭載の介護ロボットなどの活用と同時に、社会福祉法人職員として対人援助職の地力向上に努める。

3) 人材確保と育成

人材確保

多様な働き方の模索を継続すると共に、魅力づくり・情報発信・各種媒体の利用を研究、実践する。

資格取得の推進

専門性を根拠とする加算やサービス品質の裏付けとして、各種資格の取得を押し進める。

4) 公益的な取り組み

社会福祉法人の役割を点検し、市内社会福祉法人と連携し協働での実現を目指す。

4. 各事業の要点

1) 施設介護サービス（特別養護老人ホーム）

地域包括ケアが標榜されているが、施設利用希望は依然として高いニーズがある。家族介護力の低下や身寄り無しのケースに近い状況もあり、適正に施設サービスを利用いただけるよう利用前には丁寧に説明を行う。

入所された方にはアセスメントを十二分に行い、施設サービス計画に基づき、利用者の立場に立ったサービスを提供する。

新型コロナウイルス感染症をはじめ、健康管理には医療との連携は不可欠である。嘱託医との連携のほか、協力病院等との情報共有を行い、入退院時のほかに平時でもケース相談ができる関係構築に努める。

生活の延長線に看取り介護がある。人生会議やリビングウィル等、利用者一人ひとりの人生の最期に真摯に向き合い、最期の時を安らかに迎えることができるよう配慮する。

2) 居宅介護サービス（短期入所生活介護・通所介護・訪問介護・訪問看護）

家族介護力の低下や市外の入所施設の整備によって利用者数が減じている。職員確保も難しい状況が続いている中でも、今後とも利用者には選ばれる施設（事業所）となるため、サービスクオリティの向上は必須である。

短期入所事業は介護者のレスパイト目的が強くなる傾向があるが、真に利用者支援に資するために、ことさらにハビリテーション・認知症ケアへの注力が求められる。ケアマネジャー・家族との調整を密に行い、利用が目的化するための研究も行う。

通所介護事業は、介護予防と自立支援に向けたリハビリテーション等のケアを提供し、サービス提供時間に見合ったサービスの質の充実を図り、外出が困難になる要介護高齢者の社会的孤立感の解消を図る。感染症には十二分に留意し、標準予防策の履行に努める。

訪問系事業所は、個別支援の深化とリスク分散、連携を合言葉にコロナ禍での知見を蓄積してサービスクオリティ向上を図る。事務処理の効率化を図り、標準予防策の履行を妨げない環境づくりを行っていく。

3) 居宅介護支援（居宅介護支援事業所）

サービスの提供にあたっては法令を遵守し、常に質の高いケアマネジメントの提供を目指す。また、各種関係機関との連絡を密に行ない情報収集等に努め、より利用者のニーズに添った居宅介護サービス計画の作成に努める。地域包括ケアを意識し、利用者ニーズの把握にも留意する。

災害を含めた有事における要援護高齢者への支援も想定しつつ、地域包括支援センターや関係機関との連携に努める。

4) 魚沼市西部地域包括支援センター

市内西部地域（堀之内・広神 藪神地区）対象者の把握とニーズや課題の発見に努める。

施設サービス利用への流れが加速しており、地域包括ケアシステム推進に影響をおよぼしている。より良い介護サービスとなるよう関係機関とサービス事業所の連携を誘導・支援する。

5) その他事業

魚沼市高齢者生活支援ハウス

経年劣化による修繕や退去時の修繕費が多額になるなどの状況にあるが、引き続き美雪園職員の兼務により生活を支援し、入居者が安心して暮らせるよう事業を行なう。

調理業務受託事業

あぶるま苑では直営にて食事提供しており、隣接するデイサービスセンター（指定管理者：魚沼市社会福祉協議会）に対しても、あぶるま苑内の厨房にて調理した食事を提供している。今後とも食中毒、感染症の発生に対しては十分な注意を払うとともに、満足していただける食事を提供する。

6. 固定資産の取得、及び大規模修繕計画等

各施設における固定資産の取得及び大規模修繕等の事業は次のとおりとする。
(1件100万円以上の事業について記載。)

1) 美雪園 拠点区分

勘定科目	品名及び工事名	予算額	助成額他	備考
大規模修繕 建 物	本館及び新館屋上防水工事	105,000,000	0	

2) うかじ園 拠点区分

勘定科目	品名及び工事名	予算額	助成額他	備考

3) 寿和ホーム 拠点区分

勘定科目	品名及び工事名	予算額	助成額他	備考

4) あぶるま苑 拠点区分

勘定科目	品名及び工事名	予算額	助成額他	備考

5) ひまわり 拠点区分

勘定科目	品名及び工事名	予算額	助成額他	備考
大規模修繕 建 物	空調設備等改修	44,660,000	22,330,000	魚沼市